

# 第51回 FD研修会資料

令和6年5月23日 16:30~  
函館短期大学 講堂

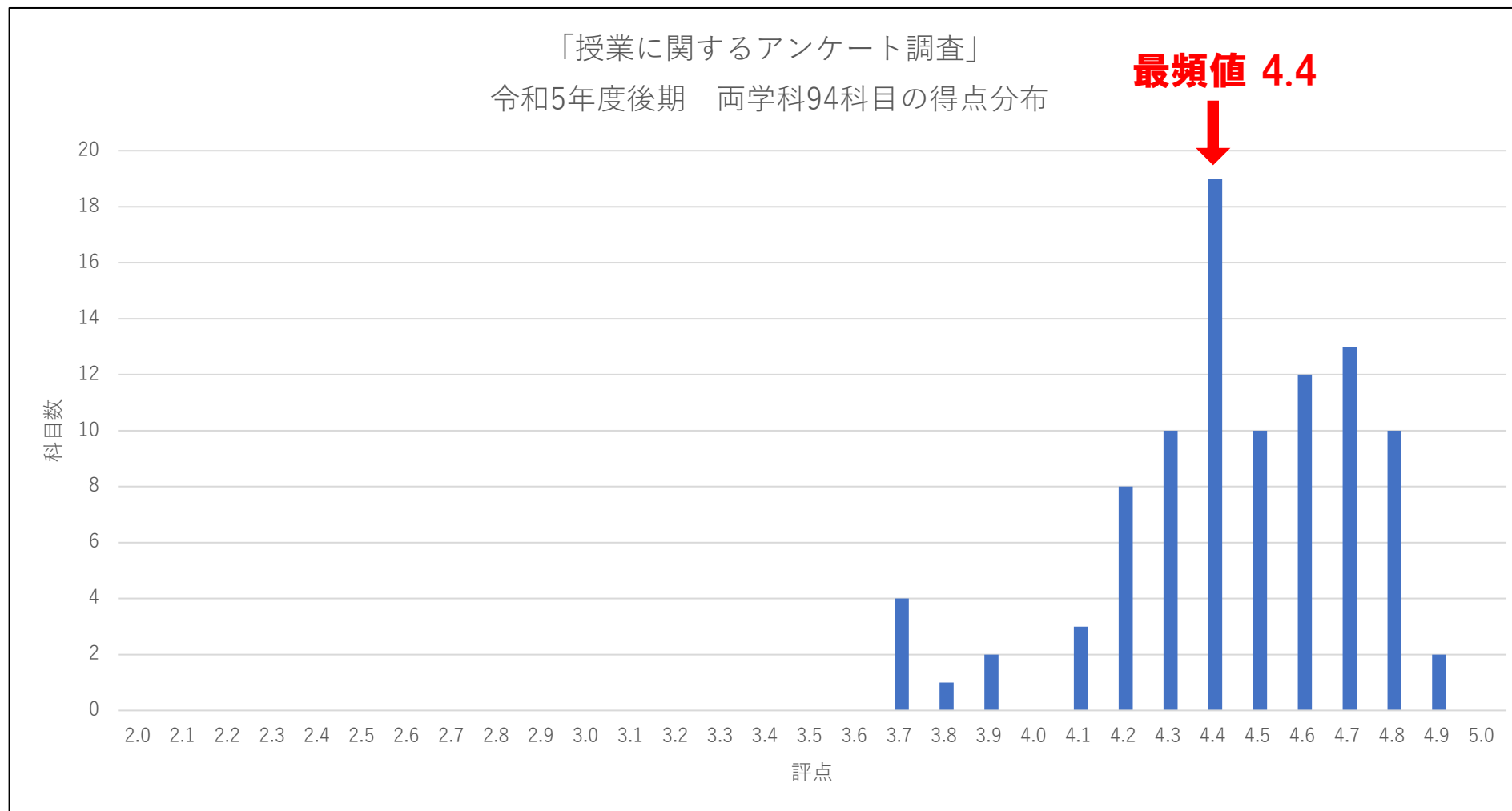
---

# **I. 令和5年度後期**

## **学生による授業評価**

# 1. 令和5年度後期 学生による授業評価結果

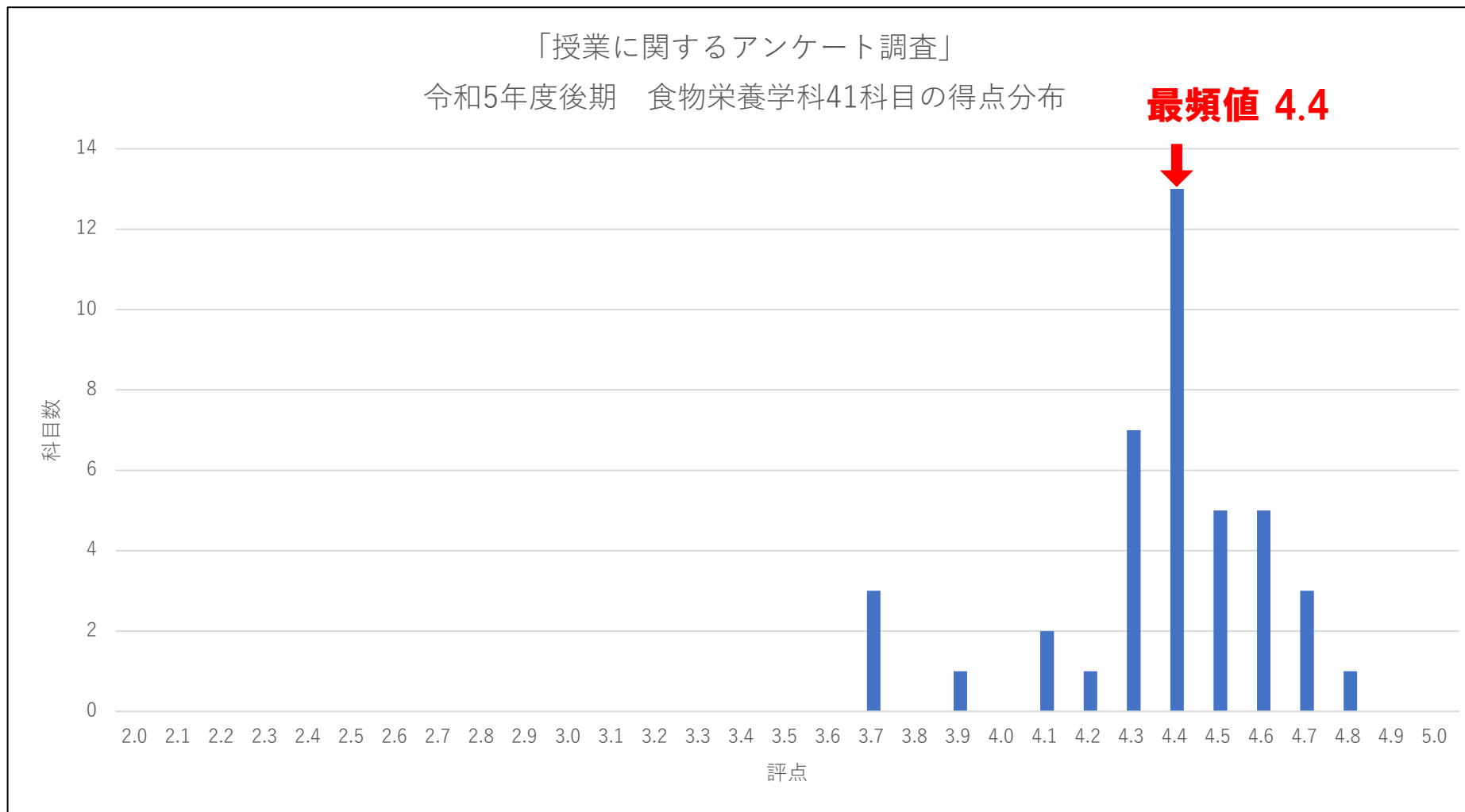
## ①短大全体の評価点分布



平均値	4.4
中央値	4.5
最頻値	4.4

# 1. 令和5年度後期 学生による授業評価結果

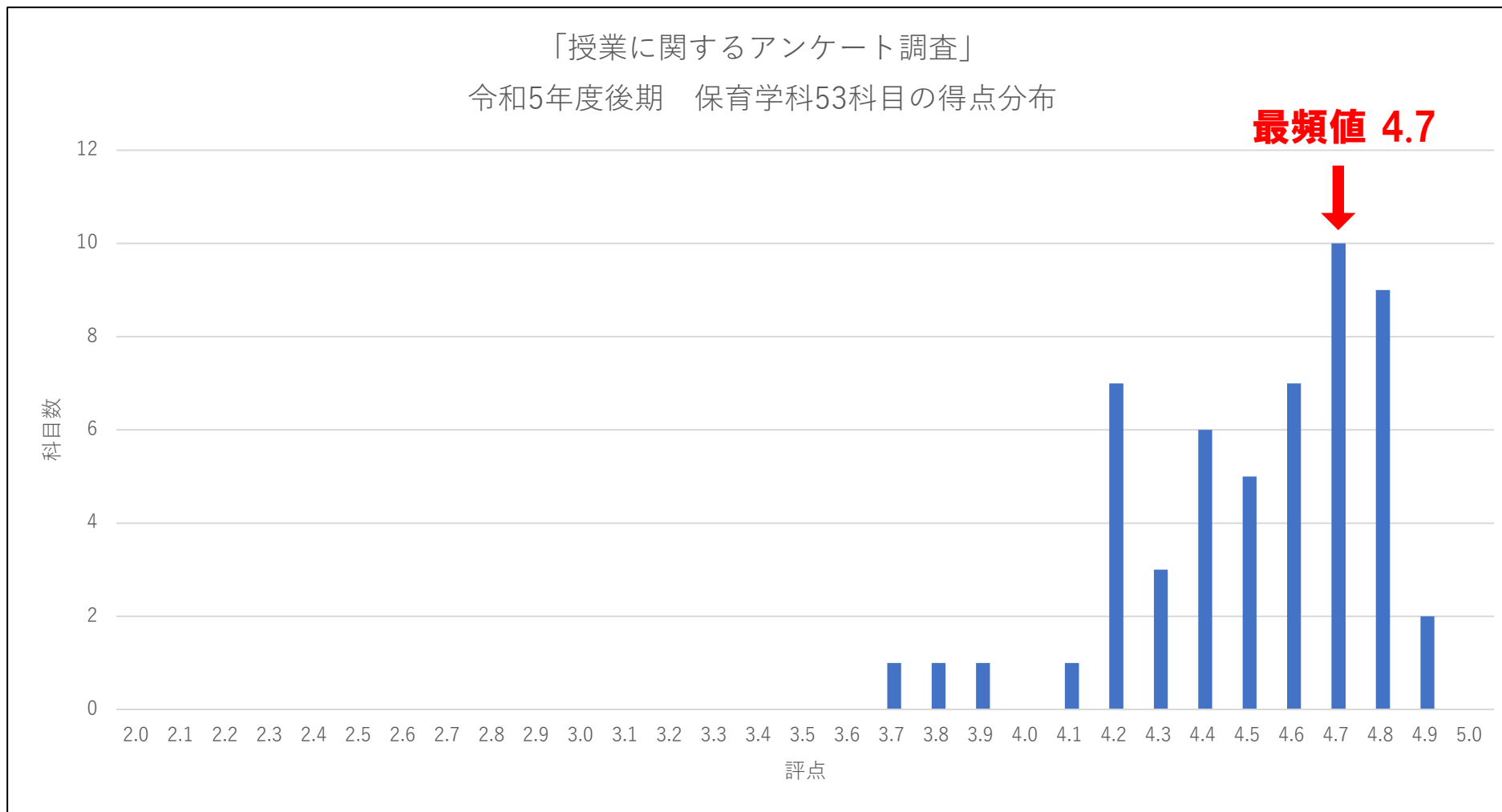
## ②食物栄養学科の評価点分布



平均値	4.4
中央値	4.4
最頻値	4.4

# 1. 令和5年度後期 学生による授業評価結果

## ③保育学科の評価点分布



平均値	4.5
中央値	4.6
最頻値	4.7

# 1. 令和5年度後期 学生による授業評価結果

## ④短大全体の質問項目別平均点

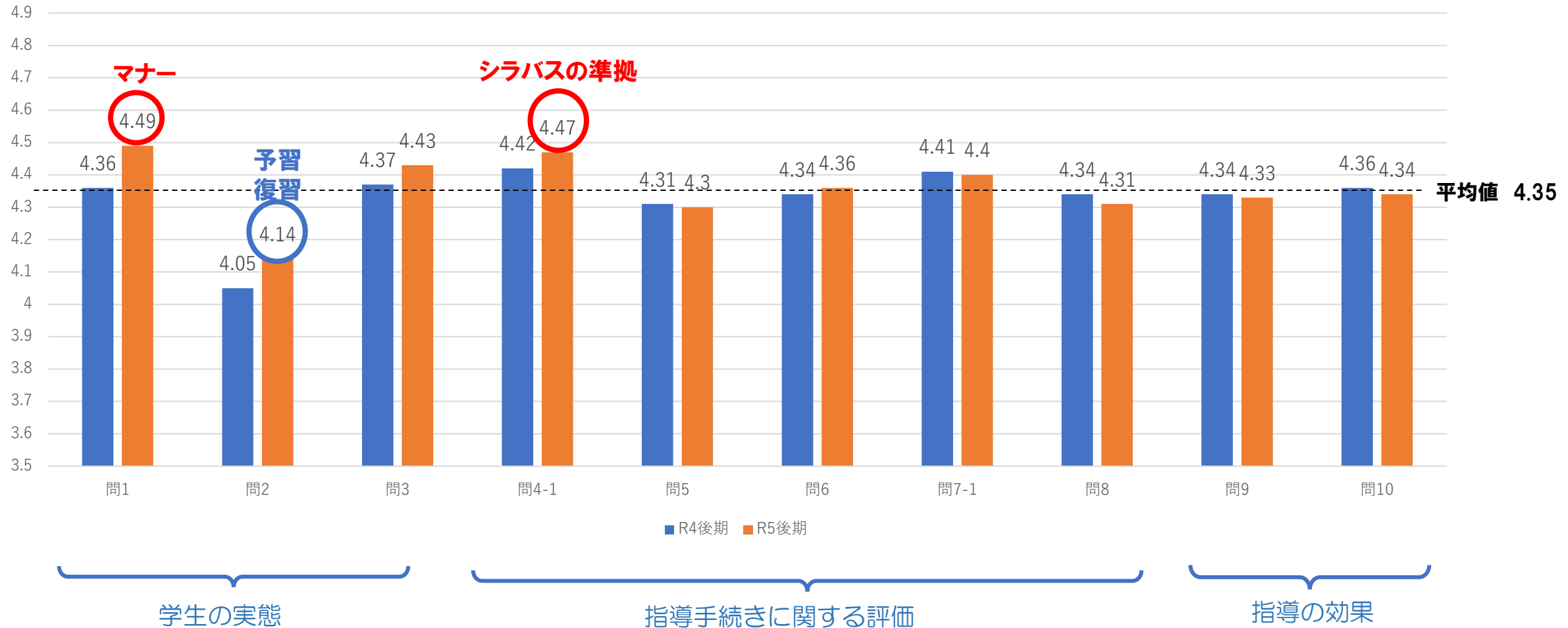
設問		R3後期評点 (平均4.39)	R4後期評点 (平均4.44)
問1	マナー	4.44	4.53 (+0.09)
問2	予習復習	4.18	4.23(+0.05)
問3	知識を活用して発表	4.40	4.46 (+0.06)
問4-1	シラバスへの準拠	4.47	4.58 (+0.11)
-2	遠隔授業の進め方		
問5	授業の説明力	4.37	4.40 (+0.03)
問6	資料の分かりやすさ	4.40	4.44 (+0.04)
問7-1	適切な資料活用	4.44	4.48 (+0.04)
-2	遠隔授業 (接続・課題提示・提出)		
問8	理解しやすくする工夫	4.39	4.40(+0.01)
問9	知識・技能の獲得と興味・関心	4.41	4.42 (+0.01)
問10	授業の満足度	4.41	4.43 (+0.02)

**明らかな変容は見られなかった。**

# 1. 令和5年度後期 学生による授業評価結果

## ⑤質問項目別平均点（食物栄養学科）

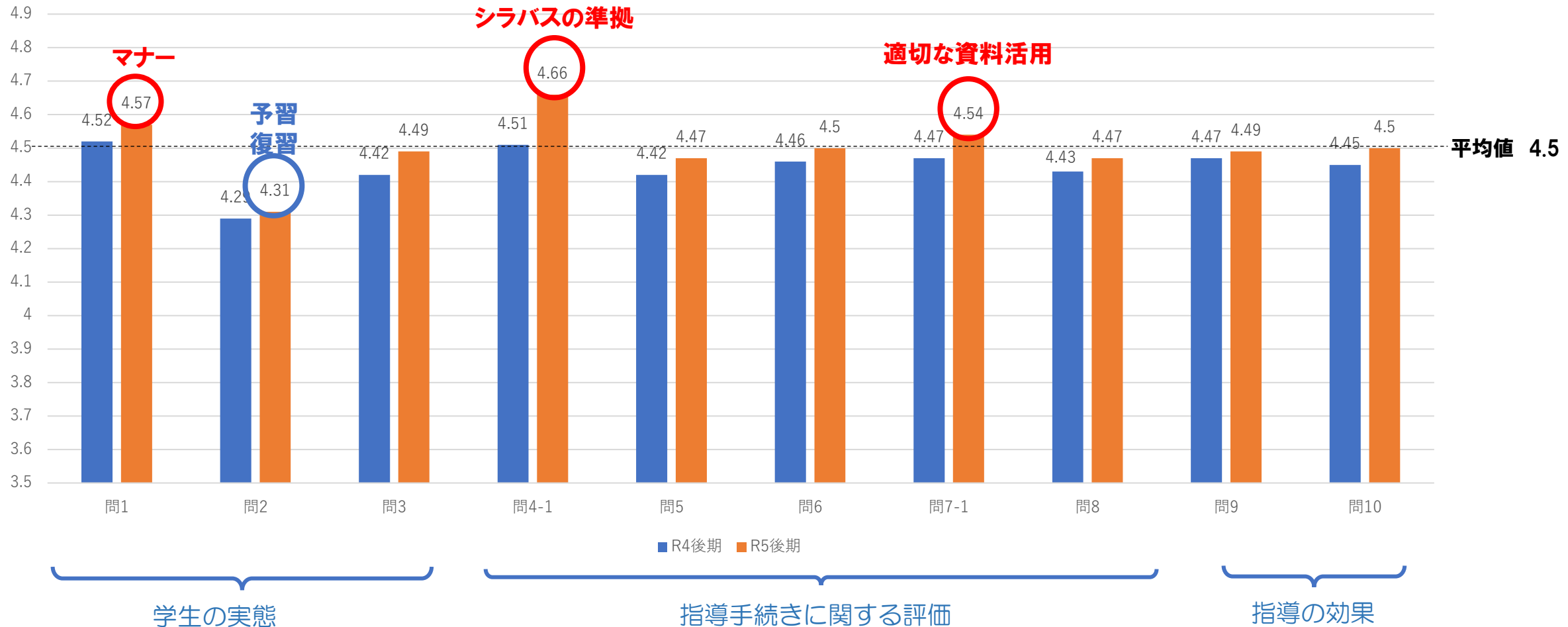
質問項目別平均点（食物栄養学科）



# 1. 令和5年度後期 学生による授業評価結果

## ⑥質問項目別平均点（保育学科）

質問項目別平均点（保育学科）





---

## **II. 令和5年度後期**

### **授業評価高評点教員の顕彰**

# 1. 令和5年度後期 食物栄養学科 授業評価高評点教員の顕彰

## ①全体（受講者10人以上の授業）

区分	順位	科目名	科目担当者	評点
全体	1	栄フ[家庭選]/調理実習Ⅱ	清水 陽子	4.75
	1	[栄教][家庭]/道德教育指導論	藤川 隆	4.75
	1	[栄教][家庭]/総合的な学習の時間及び特別活動指導論	一戸 裕之	4.75
	2	栄D/給食管理実習Ⅰ	若森 右	4.65
	2	栄フW/食品衛生学実験	梅影 創	4.65

# 1. 令和5年度後期 食物栄養学科 授業評価高評点教員の顕彰

## ②講義・演習/実習・実験（受講者10人以上の授業）

区分	順位	科目名	科目担当者	評点
講義 ・ 演習	1	[栄教][家庭]/道德教育指導論	藤川 隆	4.75
	2	[栄教][家庭]/総合的な学習の時間及び特別活動指導論	一戸 裕之	4.75
	3	[栄教]/学校栄養教育法	一戸 裕之	4.63
	4	卒[栄教][家庭]D/情報機器の操作Ⅱ	渡辺 真保	4.60
	5	卒[栄教][家庭]/外国語(中国語)	東出 隆司	4.58

区分	順位	科目名	科目担当者	評点
実習 ・ 実験	1	栄フ[家庭選]/調理実習Ⅱ	清水 陽子	4.75
	2	栄D/給食管理実習Ⅰ	若森 右	4.65
	3	栄フW/食品衛生学実験	梅影 創	4.65
	4	栄フ[家庭選]/調理実習Ⅱ	清水 陽子	4.58
	5	栄フW/食品衛生学実験	梅影 創	4.49

## 2. 令和5年度後期保育学科 授業評価高評点教員の顕彰

### ①全体（受講者10人以上の授業）

区分	順位	科目名	科目担当者	評点
全体	1	保/子どもの健康と安全	川村 幾代	4.95
	2	保ソ/子ども家庭支援論	川村 幾代	4.86
	3	保/保育実習指導Ⅰ	白府 士孝	4.84
	4	卒シ/保育者のための音楽Ⅰ	伊藤 亜希子	4.84
	5	保ソ/社会的養護Ⅰ	川村 幾代	4.81

## 2. 令和5年度後期保育学科 授業評価高評点教員の顕彰

### ②講義・演習/実技演習・実習指導（受講者10人以上の授業）

区分	順位	科目名	科目担当者	評点
講義 ・ 演習	1	保/子どもの健康と安全	川村 幾代	4.95
	2	保ソ/子ども家庭支援論	川村 幾代	4.86
	3	保ソ/社会的養護 I	川村 幾代	4.81
	4	保幼/保育内容(健康)指導法	白府 士孝	4.78
	4	保/乳児保育 II	咲間 まり子	4.78

区分	順位	科目名	科目担当者	評点
実技 演習 ・ 実習 指導	1	保/保育実習指導 I	白府 士孝	4.84
	2	卒シ/保育者のための音楽 I b	伊藤 亜希子	4.84
	3	卒シ/保育者のための図画工作	野呂 祐人	4.79
	4	卒シ/保育者のための音楽 I c	高 実希子	4.76
	5	卒シ/保育者のための音楽 I a	高 実希子	4.67

### 3. 令和5年度後期両学科 授業評価高評点教員の顕彰

#### ①短大全体（受講者10人以上の授業）

区分	順位	科目名	科目担当者	評点
全体	1	保/子どもの健康と安全	川村 幾代	4.95
	2	保ソ/子ども家庭支援論	川村 幾代	4.86
	3	保/保育実習指導Ⅰ	白府 士孝	4.84
	3	卒シ/保育者のための音楽Ⅰ	伊藤 亜希子	4.84
	5	保ソ/社会的養護Ⅰ	川村 幾代	4.81

# 4. 令和5年度後期授業評価からみる授業改善

## ① 食物栄養学科における授業改善の方向性

授業		(A) 授業評価上位5科目 評価平均	(B) 授業評価下位5科目 評価平均	(A) - (B) [R4後期]
問1	マナー	4.67	4.28	0.39
問2	予習復習	4.27	3.90	0.37
問3	知識を活用して発表	4.65	4.15	0.50
問1～4(学生の実態)の平均		<b>4.53</b>	<b>4.11</b>	<b>0.42 [0.54]</b>
問4-1	シラバスへの準拠	4.77	4.19	0.58
問5	説明力	4.81	3.37	1.45
問6	資料の分かりやすさ	4.79	3.62	1.17
問7-1	適切な資料活用	4.80	3.79	1.01
問8	理解しやすくする工夫	4.77	3.58	1.19
問5～8(指導手続き)の平均		<b>4.77</b>	<b>3.73</b>	<b>1.04 [0.65]</b>
問9	知識・技能の獲得と興味・関心	4.71	3.63	1.08
問10	授業の満足度	4.83	3.58	1.25
問9～10(指導効果)の平均		<b>4.78</b>	<b>3.61</b>	<b>1.17 [0.69]</b>
平均		4.71	3.81	0.9 [0.63]

- ・ **説明力、資料の工夫、理解しやすくする工夫**など指導の手続きにおいて (A) - (B) の差が大きくなった。
  - ・ R4年度後期と比較するとR5年度後期の指導の効果の (A) - (B) の差は**大きくなった**。
- 食物栄養学科の授業改善のポイントは、学生が分かる・できる指導手続きを授業に取り入れることが考えられる。

# 4. 令和5年度後期授業評価からみる授業改善

## ②保育学科における授業改善の方向性

授業		(A) 授業評価上位5科目 評価平均	(B) 授業評価下位5科目 評価平均	(A) - (B) [R4後期]
問1	マナー	4.72	4.39	0.33
問2	予習復習	4.50	4.07	0.43
問3	知識を活用して発表	4.69	4.09	0.60
問1～4(学生の実態)の平均		<b>4.63</b>	<b>4.14</b>	<b>0.49 [0.56]</b>
問4-1	シラバスへの準拠	4.74	4.08	0.65
問5	説明力	4.74	3.72	1.02
問6	資料の分かりやすさ	4.75	3.86	0.89
問7-1	適切な資料活用	4.75	4.03	0.72
問8	理解しやすくする工夫	4.75	3.88	0.88
問5～8(指導手続き)の平均		<b>4.75</b>	<b>3.90</b>	<b>0.85 [0.65]</b>
問9	知識・技能の獲得と興味・関心	4.76	3.99	0.77
問10	授業の満足度	4.76	3.79	0.97
問9～10(指導効果)の平均		<b>4.76</b>	<b>3.89</b>	<b>0.87 [0.69]</b>
平均		4.72	3.99	0.73[0.63]

- ・指導の手続きにおいて**説明力**の(A) - (B)の差が**大きい**。
- ・R4年度後期と比較するとR5年度後期の指導の効果の(A) - (B)の差は**大きくなっている**。  
→保育学科の授業改善のポイントは、説明するための言葉の質や量に配慮することが考えられる。



---

# III.fGPAを用いた授業科目間の 成績評価基準の平準化

# 1. fGPAを用いた授業科目間の成績評価基準の平準化

## ① fGPAを用いた評価システム導入の背景

### 私立大学等改革総合支援事業 タイプ1

⑦ 成績評価において全学部等でGPA制度を導入するとともに、以下のア～エのいずれかの基準として用いていますか。

ア 成績不振者に対する個別学修指導の実施 → SLでの指導

イ 進級判定又は卒業判定

ウ 授業科目履修者に求められる成績水準の設定

エ 教員間もしくは授業科目間の成績評価基準の平準化

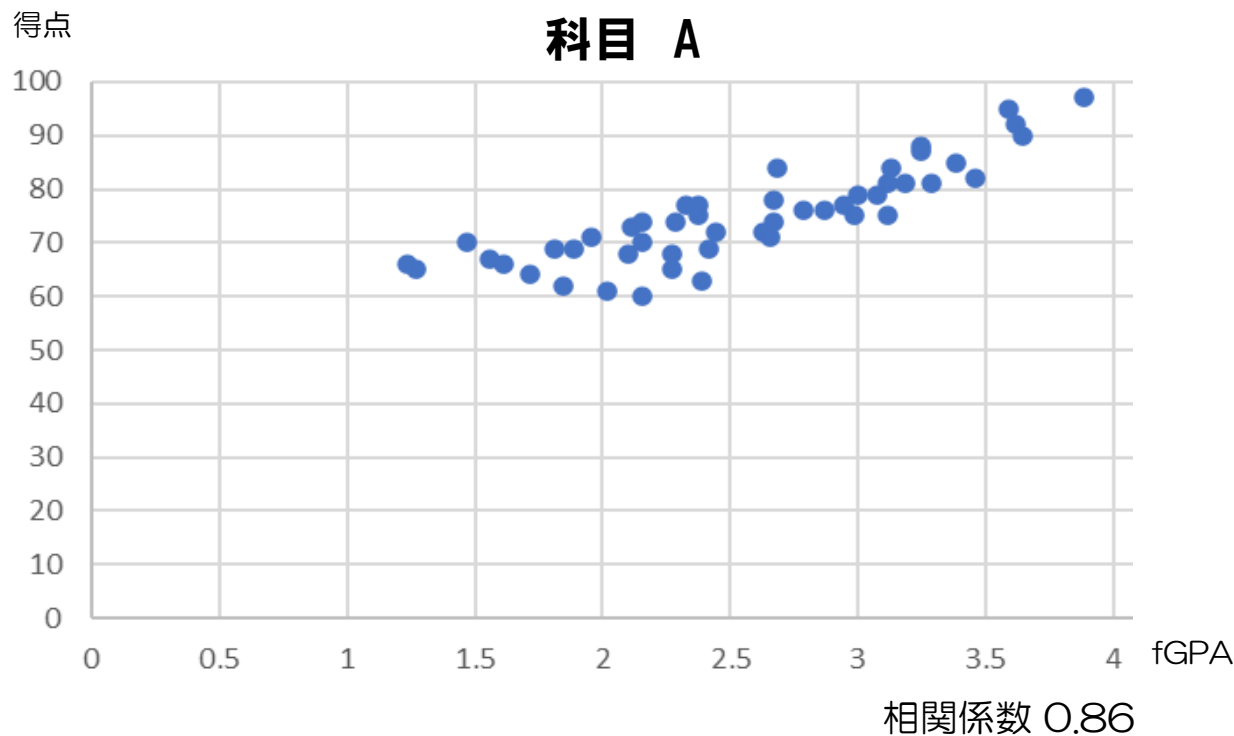
→ fGPAを用いた評価システム導入

} → 函館短期大学履修及び成績評価に関する規定

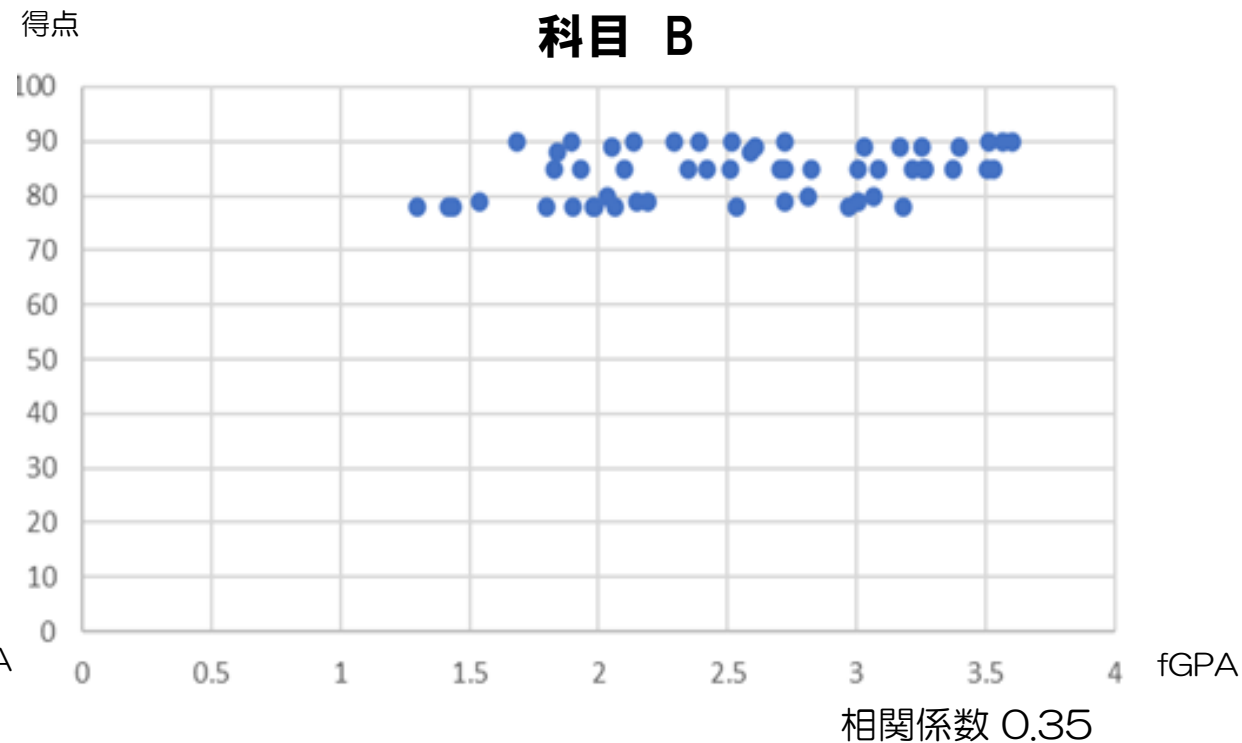
- |                     |    |
|---------------------|----|
| 1 全て実施している。         | 3点 |
| 2 アを含む3つについて実施している。 | 2点 |
| 3 アを含む2つについて実施している。 | 1点 |
| 4 上記のいずれにも該当しない。    | 0点 |

# 1. fGPAを用いた授業科目間の成績評価基準の平準化

## ② fGPAと各科目得点の分布図



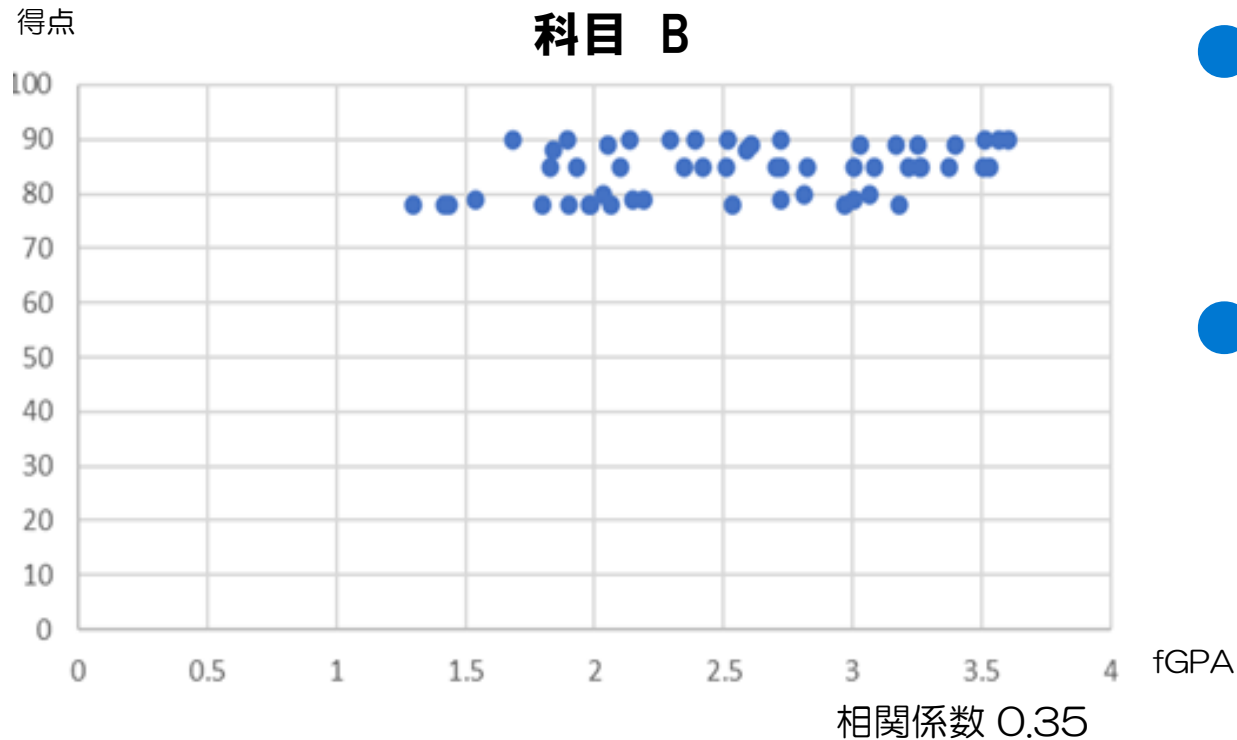
人数(人)	秀	優	良	可	不可
49	4	9	21	0	0
割合(%)	8.2	18.4	42.9	0.0	0.0



人数(人)	秀	優	良	可	不可
54	10	28	16	0	0
割合(%)	18.5	51.9	29.6	0.0	0.0

# 1. fGPAを用いた授業科目間の成績評価基準の平準化

## ③成績評価基準の再確認



人数(人)	秀	優	良	可	不可
54	10	28	16	0	0
割合(%)	18.5	51.9	29.6	0.0	0.0

### ● 科目間のバラツキが見られる

→ 評価基準が各教員で異なっていないか？

### ● 極端な成績のつけ方が見られる

→ シラバスの評価基準（ルーブリック評価）に従い、厳格に評価しているか？

→ 到達目標が低すぎるか？

→ 評価の基準や方法が単純ではないか？

→ 試験問題作成は適切か？

---

# IV. 教員相互の授業参観について

# 1. 令和5年度後期 教員相互の授業参観

## ①教員相互の授業参観の期待される効果

- 他学科の授業の様子を知ることができる。
- シラバスに明記された到達目標に迫るための授業の工夫の仕方を再確認することができる。
- 他者からの視点で授業を見てもらうことで、自分のストロングポイントを再認識することができる。



次年度に向けての授業改善のきっかけとなる取り組みとなる。

# 1. 令和5年度後期 教員相互の授業参観

## ②食物栄養学科

参観者氏名：梅影創	参観授業日：11月10日
参観授業名：教育相談	授業担当教員名：赤坂准教授

観点	キーワード	キーワード選択の理由
①教材・教具	<ul style="list-style-type: none"> <li>a 教科書、配布資料、ワークシート</li> <li>b 実物・映像・モデル教材</li> <li>c 板書、スライド、ICT等の活用</li> <li>d その他</li> </ul>	個人ワークを行っていくために必要となる知識、専門用語の解説、作業手順などが丁寧に解説された資料が配布されていた。解説資料内の文章についても、学生が理解しにくそうな抽象的な内容については具体的な補足説明が加えられていた。
②教授行為	<ul style="list-style-type: none"> <li>a 説明・解説、指示、模範・演示</li> <li>b 発問・問いかけ</li> <li>c 机間指導、個別支援</li> <li>d 導入、展開、まとめの工夫</li> <li>e その他</li> </ul>	学生に文章を読ませることで、講義への参加意識を向上させる取り組みがなされていた。学生自身に講義内容を確認させる机間指導と全体への解説が交互に繰り返されており、理解しながら講義を受ける工夫がなされていた。学生の些細な間違いもその場で適切に訂正が行われており、手順を踏みながら思考できるように配慮されていた。
③学習活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>a ペア・グループ等での話し合い</li> <li>b 課題解決的な学習、実験、実習</li> <li>c 学生による発表・プレゼンテーション</li> <li>d その他</li> </ul>	今回はグループ間での話し合いの作時間を十分とることはできなかったようだが、グループでの話し合いが行われやすいような座先配置が工夫されていた。自分（身近な題材）に対する考察を深めていく個別作業を課し、課題解決に向けた考え方が身につくよう工夫されていた。
④授業内容の専門性、課題性	<ul style="list-style-type: none"> <li>a 先哲の思想や考え方、科学的な理論や根拠等の活用</li> <li>b 学校・地域等の現場の課題に基づく内容</li> <li>c 学術的知見の紹介や活用</li> <li>d その他</li> </ul>	子ども理解に向けたアセスメントを行うに際の様々な発達理論の紹介と、これらの一部についてはすでに学習済みであるなどの情報が適切に学生に伝えられていた。アセスメントの対象が多岐にわたることをそれぞれ例を示しながら具体的に説明がなされていた。
⑤その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>a 学習の評価・ふり返し</li> <li>b 授業前・授業後の課題</li> <li>c 学習環境</li> <li>d その他</li> </ul>	既に学習した内容に基づいて考察すべき箇所がある旨説明がなされていた。授業後の課題としてレポートが課されていた。また、レポートを作成するために必要予備知識や予備作業について説明がなされていた。講義の振り返りについても行われていた。

# 1. 令和5年度後期 教員相互の授業参観

## ③保育学科

参観者氏名：赤坂和哉	参観授業日：12月6日
参観授業名：データサイエンス入門	授業担当教員名：梅影専任講師

観点	キーワード	キーワード選択の理由
①教材・教具	<ul style="list-style-type: none"> <li>a 教科書、配布資料、ワークシート</li> <li>b 実物・映像・モデル教材</li> <li>c 板書、スライド、ICT等の活用</li> <li>d その他</li> </ul>	プログラミングを実践する授業において、教員が操作するPC画面をスクリーンに映し出し、学生のPC操作の進度に合わせて、授業が進められていた。その際には、HTML言語やコード等の必要な知識が簡潔に記載された配付資料に基づき、丁寧な説明がなされていた。
②教授行為	<ul style="list-style-type: none"> <li>a 説明・解説、指示、模範・演示</li> <li>b 発問・問いかけ</li> <li>c 机間指導、個別支援</li> <li>d 導入、展開、まとめの工夫</li> <li>e その他</li> </ul>	説明や解説の後に、模範を演示し、不明な点や疑問点を学生に問いかけ、適宜机間指導を行っていた。疑問点等についてはChatGPTも使うように指導しており、新しい技術に触れる工夫がなされていた。配付資料に関しては、学生が行うべき操作が順に明確に記載されており、最後に、難易度が少し上がる課題も設定されていた。
③学習活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>a ペア・グループ等での話し合い</li> <li>b 課題解決的な学習、実験、実習</li> <li>c 学生による発表・プレゼンテーション</li> <li>d その他</li> </ul>	各自が簡単なウェブページを作る課題が設定されており、なかなかうまくいかない学生もいたが、gifアニメーションもウェブページに入れる課題となっており、学生が興味を持って楽しみながら取り組めるような工夫がなされていた。
④授業内容の専門性、課題性	<ul style="list-style-type: none"> <li>a 先哲の思想や考え方、科学的な理論や根拠等の活用</li> <li>b 学校・地域等の現場の課題に基づく内容</li> <li>c 学術的知見の紹介や活用</li> <li>d その他</li> </ul>	本学のそれぞれの学科の専門性を超えた、基礎的なプログラミングの内容であり、ICT等を活用した教育が積極的に推進されている現状を踏まえつつ、学生が社会に出からも有用な情報や技術が教示されており、現代的な課題となっていた。
⑤その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>a 学習の評価・ふり返し</li> <li>b 授業前・授業後の課題</li> <li>c 学習環境</li> <li>d その他</li> </ul>	学生がインターネットを利用しながらPCを操作して課題をするために、より通信環境が安定している大学の情報室を使うという配慮がなされていた。また、授業内で行った作業をベースにした課題も複数設定されており、習熟度を上げるための効果的な構成となっていた。



## 2. 令和6年度以降の教員相互の授業参観

---

### ① 令和6年度前期

**若森右** 専任講師 - **山下真由美** 専任講師

### ② 令和6年度後期

**伊木亜子** 専任講師 - **野呂祐人** 専任講師

### ③ 令和7年度前期

**清水陽子** 専任講師 - **川村幾代** 専任講師